

●エルゴノミクスデザインに基づくライディングポジション

CBRのネーミングは、走行速度に関わらず卓越したハンドリング性能を示すことを意味します。それはこのCBR125Rも例外ではありません。フルサイズの車体にも関わらず優れた操縦性に加え、エントリーライダーが必要とする扱いやすさも兼ね備えています。

CBR125Rのハンドリング性能を発揮するうえで重要なのは、そのライディングポジションです。793mmのシート高に加え、ハンドルとステップ位置は優れた快適性をもたらすよう配置しました。13Lと比較的容量の大きい燃料タンクの美しい輪郭とともに、スポーティーでありながら、落ち着いたライディングポジションとしました。また、ライダーの体重を適切に分散させることで、疲れにくい姿勢を保ちながら、スポーツライディング時にもライダーの動きを妨げない仕様としています。

●スチール製ツインチューブフレーム

CBR125Rは、五角形断面のスチール製ツインチューブフレームを採用しました。エンジンを強度部材として利用するダイヤモンド式を採用し、ヘッドパイプからスイングアームピボットまでをエンジン側面を通る直線で結ぶ軽量コンパクトな構成で、スポーツバイクに必要とされる高い剛性を備えています。



●スポーティーかつユーザーフレンドリーなジオメトリー

スポーツライディングに必要とされるリニアな反応と、操縦安定性をバランスさせたのがCBR125Rの車体フィールです。

1,310mmという短めのホイールベースと、90mmのトレールを設定したことで、俊敏性を活かしながらも安定感のあるセッティングを目指しました。

